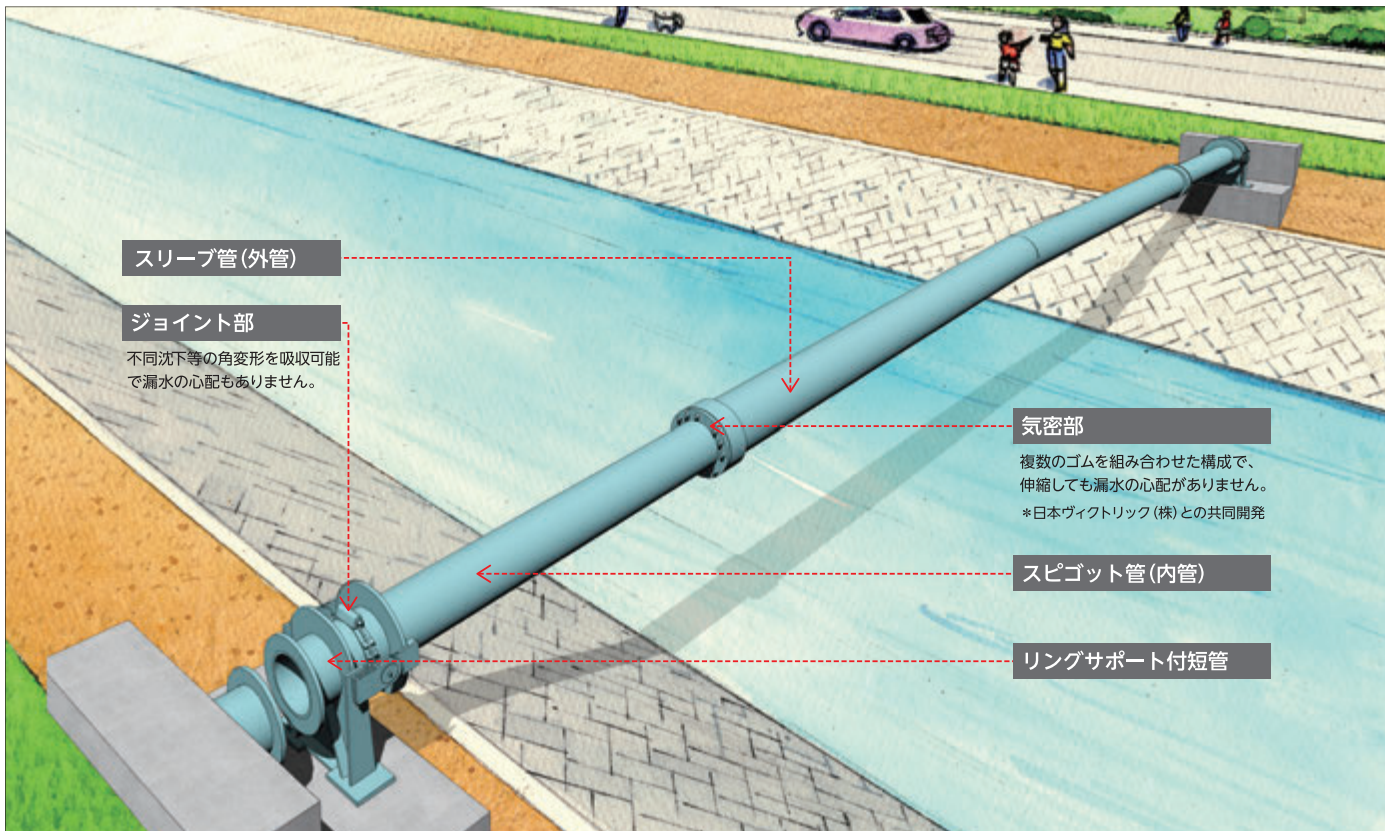


NSフリースパン水管橋[®]

NSフリースパン水管橋[®]は、
**現地組立不要で支間長がフリーに調整できる、
 パイプビーム水管橋形式の配管ユニットです。**



用途

- 1. 新設水管橋**
 下部工の設計(支間長の決定)を待たずに上部工の設計が可能。
 橋台間の寸法の変更や誤差等の吸収が容易。
- 2. 道路橋の桁内の添架管入替え**
 斜材の間から配管ユニットを挿入・延伸。狭い空間での架け替えが可能。
- 3. 仮設水管橋**
 管路の老朽更新、耐震化に伴う仮配管が容易。
- 4. 災害時の緊急仮設**
 震災、津波、台風などの際、緊急仮設が容易。

特長

- 1. 河川区域の仮設足場不要**
- 2. 本体に伸縮機能を有するため両端の伸縮管不要**
- 3. 水管管中間部分の溶接不要**

- **緒元**
 適用口径：100A～600A
 最大支間長：20m程度(運搬時最大12m)
 材料：SUS304等
 内外管の口径差：呼び径で50Aの差
 水密性：2MPa
- **対象**
 支間長20m程度の河川横断面、水路横断面
 など添架水管橋
- **構造・機能面の特長**
 - 2種類の口径の管を主部材とするシンプルな構成。
 - 外管と内管を気密部で接続することで、「伸縮フリー機能」を有する。
 - 最小長さは、運搬可能な長さ(12m程度)に設定。現地では、一括架設が可能。
 - 両端には、リングサポートを有する。
 - 温度変化による伸縮は、気密部の撓動により得られる。不同沈下は、ジョイントにて吸収可能。鉛直荷重、水平荷重とも最適性能を有する。
 - 既設管との接続は、選択(溶接接合用開先、フランジなど)可能。

NSフリースパン水管橋[®]の作業の流れ

出荷から現場で架設・配管まで



トラック等で輸送可能な長さに縮めた状態で出荷します。



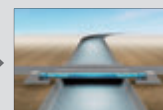
トラック等で輸送します。



現場で所定の長さに引き伸ばします。支間長を現場合わせすることができます。



クレーンで吊り上げ一括架設します。



兩岸の下部工の配管と接続します。